

平成30年3月 LCA国際小学校 学校自己評価

学校教育目標	重点目標(中・長期目標)	総合評価					
◆社会の一員として個性を生かして、社会に貢献できる人間の育成 ◆世界を舞台に活躍できる人間の育成 ◆生きることの素晴らしさを知った人間の育成	信頼できる学校づくり（教育の質・保護者などへの連絡の正確さ） 子どもの英語教育センターとしての機能の充実（教材・プログラム・人材）	新校舎への移転に合わせて、組織強化に取り組んだ。英語の教育センターとしての役割を果たせるよう、カリキュラム、テキスト、カード作りに取り組んだ。					
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	学校の組織を強化する（教務の仕事と事務の仕事の明確化）ことで、教務が教育の質を上げ、事務が正確でミスのない仕事をできるようにする	教務と事務を分けることはできた。更に教務、事務それぞれの質の向上を目指す	○				教職員の増員 校務・事務分掌の作成、周知
各教科の指導計画の見直しと向上	各教科部会を開き、またブレインストーミングをするなどして指導内容の検討をした。	○				各教科指導書の作成（道徳含む）	

領域	対象	目標	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	教育課程	学習指導要領に準じながら英語力を伸ばすカリキュラム作り	児童会・委員会活動の定着	概ね順調に活動できた。		○			新校舎に移転後したことにより、低学年・高学年が同じ校舎になったことから委員会活動が活発化した。
	教科指導	体育:運動量を増やす。カリキュラムに変化を持たせ、飽きさせない授業ができる。講師を招いて教員研修をする。	日本の体育指導の良い点を取り入れ、運動量を増くした指導法の確立。	体育の授業に精通した教員を配置した。また、研修を実施した。 五輪出場アスリートを招き、スポーツの重要性を確認した。		○			講師を招く、研修に出向くなどの方法を並行して検討
		英語:独自開発したオリジナルテキストを使用し、ディスカッション・ディベートなどの能力を上げる。	高学年:授業の中で学んだことを活かして、英語でディスカッションができる。	オリジナルテキストを使った授業が定着している。		○			オリジナルテキストの更なる活用を確立する。
		国際人としての国語力とは何かを見直し、研究し、オリジナルのテキストの作成にとりかかる。	オリジナルの教材を使用して効果的な授業ができる。	オリジナルテキストの製作は進んでいる。		○			テキスト作りを継続し、使用を開始する
	児童指導	「自分の気持ちを、相手にきちんと伝える。相手の気持ちを受け取れる。」ことを大切にしたい児童指導の徹底。特に養護教諭がカウンセリングをできるようにする。	児童が学校で起きたトラブルなどで、気持ちが曇ったまま帰宅することが無いよう取り組めたか、また、家庭との連絡やその後のフォローは適切にできたか。特に担任、養護教諭が対応できたか。	児童との相談、保護者との相談を誰がいつするかなどについてのマニュアルにそって対応した。スクールカウンセリングによるカウンセリングを実施した。	○				スクールカウンセリング体制を更に充実する。
学校運営	地域との連携	地域と連携し、社会科見学を実施する。また、実際的な話を聞くために、地元の方を講師として招く	地域の方との連携で効果的な指導ができたか	地域商店会の方の協力を得るなどして交流に努めた。		○			更に、地域各種団体との連携を図る。
	研修	LCAの教育理念を理解するための研修 新しい学力観に基づいた授業の研修 自立した子を育てるための野外活動研修	研修は適切に行われたか、また、効果はあったのか	春休み、夏休みの期間を活用して、研修に努めた。公開研究発表会を開催した。		○			相模原市の公立学校の見学や研修への参加、更に、研究発表会の開催を検討する